

新横浜出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局
京 浜 河 川 事 務 所
新 横 浜 出 張 所 発 行
電 話 045-476-5003
2012年08月20日【第29号】

大雨が心配な季節です・・・河川情報をご利用下さい

さまざまな情報収集機器

- ▼雨量計
- ▼水位計
- ▼カメラ
- ▼レーダー雨量計 (XRAIN (エクスレイン))
- ▼浸水検知センサー (一部地域のみ)
- ▼テレビ (NHKデータ放送)

情報を得る方法

- ▼ホームページ
- ▼携帯電話
- ▼河川情報板 (川崎駅)



8月も下旬となり台風が心配な季節となります。また、5月頃から日本の各地で記録的大雨と言われるような雨も降っています。

5月の連休頃は九州地方で多くの災害を出し、最近では、近畿地方を中心に大雨が降りました。

いつ何処で起こるか分からない豪雨に備え、国土交通省では、河川情報、テレビのデータ放送など、さまざまな手段で提供しています。

昨年8月には、下記の写真のように鶴見川支川の矢上川でも1時間に3.3mの水位上昇が起こるなど、同様の状況は生まれています。

左記は、河川に関する情報収集機器にどのようなものがあり、どのような情報が発信されているのか簡単に紹介したものです。

パソコン、携帯電話等を使って河川情報をキャッチして下さい。

ケーヒンモバイル

<http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/m>

(多摩川、鶴見川、相模川に関する河川情報)

全国の河川情報は

<http://www.river.go.jp/>

(川の防災情報)

鶴見川支川の矢上川の増水状況(平成23年8月26日) Keihin

8月26日16:10 TP+0.76m



矢上川 (矢上橋) で、
1時間に約3.3m水位
が上昇しています。

8月26日17:10 TP+4.01m



この画像は、河川監視
用カメラから撮影した
ものです。

鶴見川の堤防除草が鶴見(出)8月上旬・新横浜(出)8月下旬から始まります

新横浜出張所・鶴見出張所では、鶴見川の堤防の異常の早期発見や強度維持等のため、堤防除草を行っています。

今年度2回目の除草は、8月上旬に鶴見出張所管内から始め、8月下旬から新横浜出張所管内に移る予定です。

鶴見川の除草は、平成21年度まで年3回行ってきましたが、事業仕分けによる指摘も踏まえ、平成22年度からは治水上最低限必要な年2回に見直しを行っています。

今年度も引き続き、除草回数は2回となります。

皆さんには、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



鶴見川の駒岡防災船着場で『物資輸送訓練』が9月1日に行われます



埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市の九都県市の地域は、我が国総人口の約4分の1に当たる約3,500万人の人口を擁し、政治・経済などの中枢機能を集積しています。これらの地域は「首都直下地震」や「東海地震」の発生が懸念されており、これらの地震による被害の影響は各方面に及ぶことが予想されています。

この9つの機関は、毎年合同で防災訓練を行っています。

今年は、横浜市西区のみなとみらい地区で開催されますが、そこから鶴見区駒岡地先の防災船着場まで物資を船により運搬し、そこで陸揚げし駒岡小学校まで車両により運搬する訓練が行われます。

9都県市の防災訓練の詳細は、次のアドレスをご覧ください。

<http://www.9tokenshi-housai.in/kunren/>

あ と が き

8月14日東西日本の広範囲で大気の状態が不安定となり、近畿地方を中心に局地的に1時間に100mmを越す大雨が降り、亡くなった方なども出ました。

このような雨は、いつ何処で起きてもおかしくありません。

川を利用するときは、自主的に情報収集を行い「天気に常に気を配る」「川の様子をよく見る」など、急な増水による水難事故に備えて、利用者自らが注意することが大切です。

京浜河川事務所では、鶴見川流域などの雨量観測所で一定の雨量を検知したら、皆さんへ注意を呼びかける「マルチコール」というもの作り、登録するように進めています。情報提供料は無料です。

マルチコールとは、多摩川、鶴見川、相模川の雨量・水位観測値および鶴見地区ならびに新横浜駅前地区の浸水観測値が基準値を超えたことを、電子メールでお知らせするサービスのことです。京浜河川事務所のホームページの『防災情報』サイトに入って登録することが出来ます。

また、次のアドレスかQRコードでも登録できます。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/m>



『新横浜出張所だより』編集長(上林喜美夫)

鶴見川流域センターは夏休みメニューです

JR小机駅の近くにある、地域防災施設『鶴見川流域センター』は、流域にお住まいの皆様への情報発信施設として、また、洪水や地震時の防災拠点となる施設です。

お父さん、お母さん、お子様の夏休みの自由研究は、もうお済みでしょうか？

鶴見川流域センターでは『夏休みフェア』として、小学生向けの小イベントを、ほぼ毎日行っています。

夏休み期間に入ってから、自由研究のテーマ探しに親子で来館される方が多くなりました。詳しくは、鶴見川流域センターまでお問い合わせ下さい。(夏はカブトムシも展示しています)



【毎週火曜日が休館日です】

住所 横浜市港北区小机町2081

電話 045-475-1998

(鶴見川流域センター直通)